資料-2

様式Ⅱ－4

公共工事等における新技術活用システム
事前審査結果

技術名称	FT マッドキラー（NETIS 登録番号：CB-010011）
申請者名	(株)フジタ、(株)ティエムディ

確認対象	コメント
経済性	泥土の含水比、目標強度により添加量が変化するが、所定の条件の下では経済性は見込まれる。なお、改良土の pH 等により制限がある場合には他の類似の工法と比較して使用することが考えられる。

確認対象	判　定	コメント
1.安全性	□問題がない ■留意事項あり □データが不足 □実験方法が誤り □結果の信頼性がない	ペーパースラッジ灰の製造工程や材料の種類によっては、重金属等が含まれる恐れがあるため、改良土の溶出・含有量について、土壌環境基準等を満たすか確認が必要である。
2.耐久性	□問題がない ■留意事項あり □データが不足 □実験方法が誤り □結果の信頼性がない	地下水位下の環境下や表面の被覆を行っていない場合、地下水や表面水により再泥化の懸念があるため、利用場所・利用方法について注意が必要である。
3.品質、出来形	□問題がない ■留意事項あり □データが不足 □実験方法が誤り □結果の信頼性がない	運搬中や仮置き中に降雨があった場合などには強度低下することがあり、強度が足りない場合は再転圧や FT マッドキラーの再添加が必要となる。
4.施工性	□問題がない ■留意事項あり □データが不足 □実験方法が誤り □結果の信頼性がない	バックホウを用いた FT マッドキラーの添加にあたっては、粉塵が発生する場合があるので注意が必要である。また、泥土の含水比によっては、バックホウでは十分に混合が難しい場合があるので留意すること。
5.環境	□問題がない ■留意事項あり □データが不足 □実験方法が誤り □結果の信頼性がない	安全性での記述のように、土壌環境基準を満たすか確認が必要である。
6.その他	□問題がない □留意事項あり □データが不足 □実験方法が誤り □結果の信頼性がない	

確認対象	コメント
効果及び適用条件・適用範囲	セラミックの吸水による脱水効果が認められる。 活用にあたって泥土の含水比が高い場合には、天日乾燥処理、事前脱水等を組み合わせるほうが経済性を考慮すると現実的と考えられる。また、本工法は固化材を用いない脱水による改良であり、再泥化による強度低下が懸念されるため、利用場所は地下水位以上の場所に限定される。

総合的評価	□現場での試行可（□全額負担　□一部負担）【　　】 ■条件付試行可　（□全額負担　■一部負担）【実施工にあたっては、事前処理の必要性および再泥化による強度低下について確認する必要がある。また、標準工法までは官負担、それを超える部分は申請者負担】 □技術的改善を要する。【　　】 □事前審査のためのデータが不足している。【　　】

※審査結果の内容についてのお問い合わせおよび再審査に関するご相談は新技術活用評価会議事務局にお寄せください。

連絡先：東北地方整備局新技術活用評価会議事務局
担当：東北地方整備局
企画部　施工企画課
課長補佐　川津孝徳
施工係長　山本　賢
TEL：022-225-2171